

Yokohama Choral Society 横浜合唱協会
第76回定期演奏会

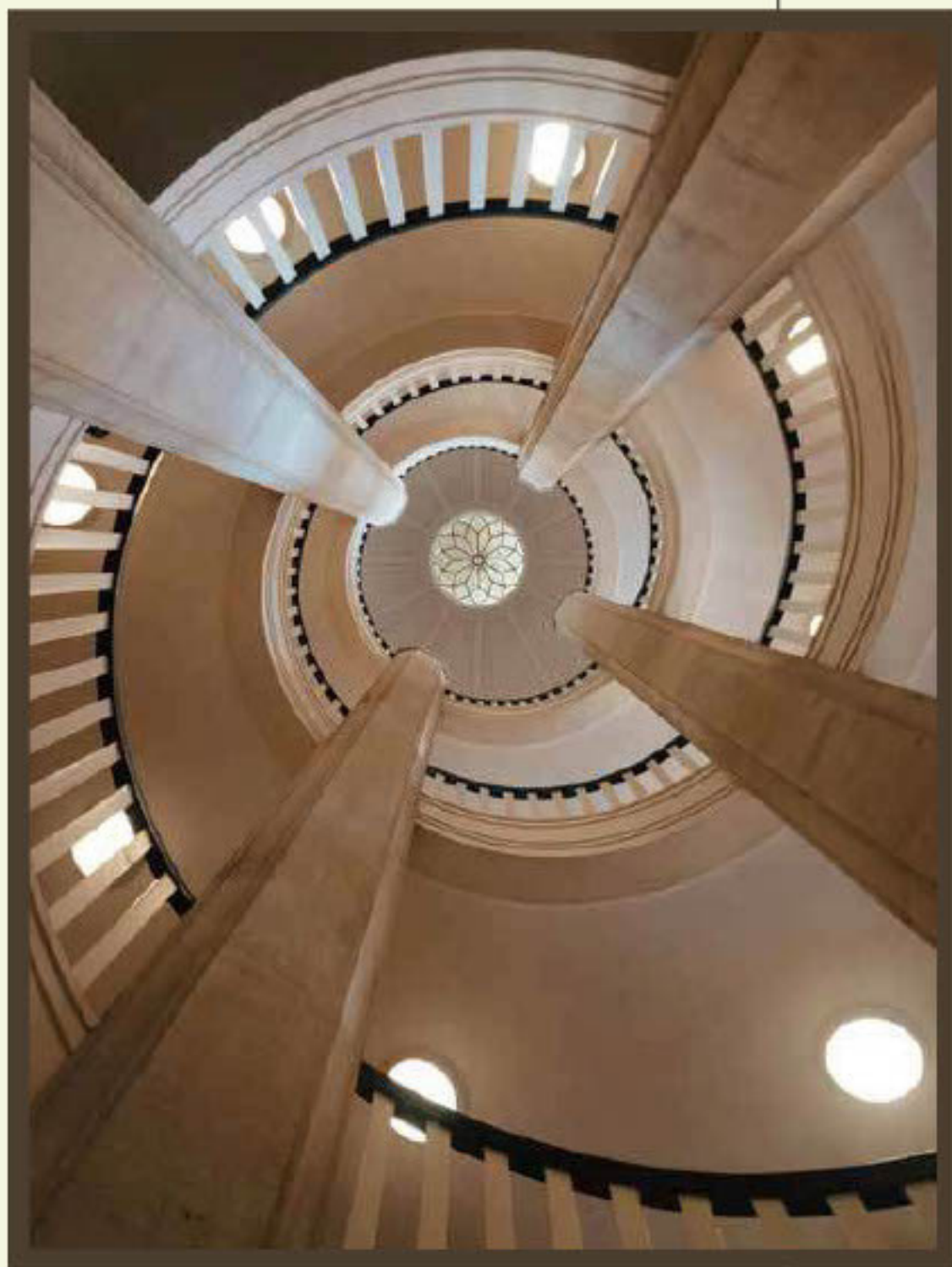
バッハとゼレンカ～ドイツ・バロック 対位法名手の2人～

J.S.バッハ：カンタータ《感謝の供え物を捧げる者は、私をたたえる》BWV 17

J.S.Bach : Wer Dank opfert, der preiset mich BWV 17

J.D.ゼレンカ：父なる神のミサ曲 ZWV 19

J.D.Zelenka : Missa Dei Patris ZWV 19



指揮：柳嶋 耕太

ソプラノ：星川 美保子

アルト：上村 誠一

テノール：大野 彰展

バス：小池 優介

管弦楽：プロムジカ・バロック・アカデミー

合唱：横浜合唱協会

2026年9月27日(日)14:00開演 13:00開場

横浜みなとみらいホール大ホール

自由席：一般 3,000円 学生 500円

7月1日販売開始

チケット取り扱い:teket

今回は、J.S.バッハ(1685~1750)のカンタータとJ.D.ゼレンカ(1679~1745)のミサ曲を取り上げます。バッハのカンタータ第17番が成立したのは1726年9月。ちょうど300年目の演奏となります。そして、ゼレンカはボヘミア生まれ、主にドイツのドレスデンで活躍しました。彼が「最後のミサ(Missa ultima)」と称して構想した6曲のうちの1曲で、1740年9月に作曲された最後にして最高の1曲です。

後期バロック時代のほぼ同時代を生き、ともに「対位法の名手」であり、ドレスデンの「宮廷作曲家」の称号を得ている2人。カンタータとミサ、2つの異なる宗教曲の魅力をお楽しみください。



横浜合唱協会HP



撮影:スタッフ・テス



© Promusica Continue Co., Ltd.

合唱 横浜合唱協会 Yokohama Choral Society

J.S.バッハの声楽作品の本格的な演奏を目指し、1970年に発足。バッハ、シュツ、メンデルスゾーン、ブラームスなどのドイツ合唱音楽を中心に半世紀超にわたり演奏活動を実施。2018年からは常任指揮者に柳嶋耕太氏を迎え、近・現代曲など新たな挑戦も視野に入れ、充実した練習を行っています。さまざまなアプローチで素晴らしい音楽体験をさせてくれる柳嶋さんの稽古に魅了されたメンバーが、毎週土曜日の夜に集い、楽しく真面目に、より美しいハーモニーを目指して歌っています。現在男声会員募集中。

指揮 柳嶋 耕太 Kota Yanagishima

合唱指揮者。ドイツ・ザール音楽大学指揮科卒業。2015年にドイツ音楽評議会・指揮者フォーラム研究員に選出され、ベルリン放送合唱団、北ドイツ放送合唱団をはじめとするドイツ国内各地の著名合唱団を指揮。2017年秋完全帰国。以来、vocalconsort initium、室内合唱団vox alius、Chor OBANDES、横浜合唱協会、早稲田大学混声合唱団をはじめとする多数の合唱団で常任指揮・音楽監督を務める。オルケストル・アヴァンギャルド、プロムジカ・バロック・アカデミー、amici musicae Leipzigなどの新進気鋭のオーケストラとも指揮で共演するほか、(株)コーラスカンパニー主催の合唱指揮講座講師を務めるなど後進の育成にも力を入れる。合唱指揮をゲオルク・グリュン、指揮者を上岡敏之の各氏に師事。



ソプラノ 星川 美保子 Mihoko Hoshikawa

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。東京藝大バッハ・カンタータ・クラブに所属し、小林道夫氏のもとで研鑽を積む。第50回大メサイアのソプラノソロを務める。2003年よりドイツ・ライプツヒに留学。Christina Wartenberg氏に師事。近年声楽の個人指導や合唱団、聖歌隊のヴォイストレーナーとして主に活動。それぞれの声の幅に寄り添い、丁寧な指導を心がけている。



アルト 上村 誠一 Seichi Kamimura

国立音楽大学および同大学院修了。第75回全日本学生音楽コンクール全国大会にてカウンターテナーとして史上初の第1位。第7回かわさき新人声楽コンクール第1位・聴衆賞。第35回音楽堂日本歌曲コンクール歌劇部門第2位(カウンターテナーとして史上最高位)・畑中良輔賞。日本コロムビアOpus Oneレーベルより「わたしを盗めないで」をリリース。日本コロムビア Columbia Classics 協力アーティスト。Salicus Kammerchor・PROMUSICA BAROQUE ACADEMY メンバー。東京混声合唱団レジデントメンバー。World Youth Choir 2024 日本代表。



テノール 大野 彰展 Akinobu Ono

国立音楽大学大学院音楽研究科を経て、バーゼル音楽院スコラ・カントルムを優秀な成績で修了。欧州を中心に著名な団体と共演。主要な古楽祭にもソリストとして多数客演し、参加した多数の録音はどれも国際的に高い評価を得るなど、現代の古楽シーンにけん引する一人である。2024年拠点を日本に移した後は、自ら率いる団体の企画立案を始めるなど、ディレクターとしての活動にも注力している。Il Madrigaleone 代表。



バス 小池 優介 Yusuke Koike

東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。同大学院声楽専攻を首席で修了し、大学院アカンサス音楽賞を受賞。2022年日本音楽コンクール歌劇部門で第2位および聴衆賞を受賞。以来、手塚修司のドイツリート演奏会を積極的にやっている。宗教音楽やバロック時代の作品の演奏にも定評があり、2025年国府古楽コンクール山梨で第3位を受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。妻・有岡恭保と共に「有岡音楽家塾新御徒町」を主宰。



管弦楽

プロムジカ・バロック・アカデミー PROMUSICA BAROQUE ACADEMY

プロムジカ・バロック・アカデミーはチェンバロ・通奏低音楽者の高谷俊貴により創設。国内外で活躍する若手実力派オリジナル楽器奏者で構成される。2024 年から J.S. バッハ カンタータ作品全曲演奏《All Bach Cantatas Project》を開始。《コラル・旋律に基づく新曲集作品》《バロック様式による新作器楽曲》の世界初演にも積極的に関与。横浜合唱協会をはじめ、共演する合唱団からも全編の信頼が寄せられている。

Ob. 荒井 謙、佐治 みのり Fg. 長谷川 太郎

コンサートマスター 天野 寿彦

Vn. 遠藤 結子、大光 富雄人、本郷 幸子、藤田 真理、水谷 有星、宮崎 春子

Vc. 武澤 秀平、野津 真亮 Cb. 長谷川 順子 Org. 園谷 俊貴

Va. 中島 由布良、本田 紫紗

チケット取扱い



こちらから専用ページにアクセスできます
2026年7月1日より一般販売開始
演奏会当日も購入できます



<https://teket.jp/1174/66505>

アクセス

みなとみらい駅

(東急東横線直通 / みなとみらい線)
「クィーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分

桜木町駅

(JR京浜東北線・相模線 / 横浜市営地下鉄)
動く歩道からランドマークプラザ経由でクィーンズスクエア1階南。徒歩12分



●お願い：勝手ながら出演者への花束・プレゼントは辞退させていただきます。
●やむを得ない事情により、出演者・曲目は変更になる場合がございます。変更に伴う払い戻しはございません。
●未就学児の入場はご遠慮ください。
●チケット購入時に演劇した個人情報は厳重に取り扱い、後日適切な方法で破棄致します。